

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学会津医療センター感染症・呼吸器内科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 30 年 2 月 福島県立医科大学会津医療センター感染症・呼吸器内科学講座
講座主任 新妻 一直

【研究課題名】 PAR-2 アンタゴニストは間質性肺炎 (IP) 急性増悪新規治療薬になりうるか？
～IP および IP 急性増悪患者における肺内 PAR-2 の役割について解明する

【研究期間】

平成 30 年 2 月～平成 35 年 1 月

【研究の意義・目的】

特発性間質性肺炎や肺線維症は、確定診断がついてからの平均生存期間が 2.5 年～5 年間で予後の悪い病気の一つとされています。さらにそのうち年間 5～10% が急性増悪を起こすといわれており、その際の平均生存期間は 2 ヶ月以内と予後不良の疾患です。本疾患は未だ原因が解明されておらず、厚生労働省の指定難病に登録され未だに有効な治療法が確立されていないのが現状です。

本研究は、protease activated receptor-2 (PAR-2) という分子に着目し PAR-2 が特発性間質性肺炎や肺線維症およびその急性増悪に関係しているかを調べるものです。PAR-2 の活性化は凝固・炎症・線維化に関わることが知られており、PAR-2 の活性が特発性間質性肺炎や肺線維症およびその急性増悪に関係しているのかを知ることで、将来的に PAR-2 阻害剤が同疾患の治療薬となる可能性が考えられるのです。

【研究の方法】

対象となる患者さんは、①会津医療センター感染症・呼吸器内科にて、平成 26 年 6 月～平成 30 年 1 月時点において、②福島県立医科大学呼吸器内科にて、平成 13 年 4 月～平成 30 年 1 月時点において、間質性肺炎および間質性肺炎急性増悪の診断のため気管支鏡検査および胸腔鏡下肺生検が行われた方です。ここから得られた気管支肺胞洗浄液と肺組織を用い、PAR-2 の活性を ELISA および免疫染色で確認します。

【研究組織】

| (所属) | (職) | (氏名) |
|-------|------------------------------------|----------|
| 研究責任者 | 会津医療センター感染症・呼吸器内科学講座 | 教授 新妻一直 |
| 主任研究者 | 会津医療センター漢方医学講座 (感染症・呼吸器内科学講座兼務) | 准教授 鈴木朋子 |
| 研究分担者 | 会津医療センター感染症・呼吸器内科学講座 | 講師 齋藤美和子 |
| | 会津医療センター副センター長 | 棟方充 |
| | 会津医療センター外科学講座 | 講師 樋口 光徳 |
| | 会津医療センター漢方医学講座 | 教授 三猪忠道 |
| | 呼吸器内科学講座 | 准教授 谷野功典 |
| | 呼吸器内科学講座 | 助教 二階堂雄文 |
| | 血液内科学講座 | 助教 王新涛 |

【他の機関等への試料等の提供について】

他機関への提供はありません。

【研究者が保有する個人情報について】

研究者が保有する個人情報に関し、研究対象者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、利用停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続きが必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書を交付しますが、交付に係る費用（コピー代等）をご負担いただきます。

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

○研究内容に関する問い合わせの窓口

〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田 2 1 - 2

公立大学法人福島県立医科大学 会津医療センター漢方医学講座 鈴木朋子

電話: 0242-75-2100 FAX: 0242-75-2568

E-mail: suzukito@fmu.ac.jp